

若手が辞めてしまう…
現場指導方法が分からない…
最近の若者のことが分からず理解ができない…

早期離職を防止するOJT(現場指導) 若手中堅社員 部下育成研修

11/28
(木)
対面開催

研修のねらいと効果

- OJT(現場指導)の方法を学び、効果的に若手や新人を育成し戦力化を図る
- 最近の若者の傾向を理解し、相手に合わせた指導方法を学ぶ
- 具体的な指導方法を学び、即現場で実践できるスキルの習得を図る

研修実施概要

- 参加費：お一人様 3,000円
- 実施日：2024年11月28日(木)
- 実施時間：9:30～17:00(受付開始9:20から)
- 形式：対面開催
- 対象人数：30名迄
※定員になり次第、締め切りとなります
- 応募締切：2024年11月21日(木)
- 問合せ：TEL:03-3546-2525
Email:ko-shinozaki@tokyo-koudanren.or.jp
担当：篠崎(シノザキ)

プログラム

- ・Z世代の特徴と指導のポイント
- ・OJTとは/OJTの目的/やる気を引き出す育成
- ・OJT担当の役割/必要な力
- ・OJT計画を立てる/目標/やるべきこと
- ・新人若手育成の基本スタンス
価値観を知る/話しやすい環境づくり/論理的に伝える
- ・ティーチング方法/指導の6段階/フィードバック方法
効果的な褒め方と叱り方/質問力
- ・OJT行動計画

開催会場情報

- 会場名：中小企業会館 9階 講堂
- 住所：東京都中央区銀座2-10-18
- アクセス：・東京メトロ有楽町線
「銀座一丁目駅」11出口徒歩1分
・東京メトロ銀座線・日比谷線
「銀座駅」A13出口徒歩7分

研修のお申込・お問い合わせは

FAX 03-3546-2853

必要事項をご記入の上、送信ください

所属地域団体名	お問い合わせ内容	詳細が知りたい	申込みたい
貴社名	郵便番号	〒	
御担当者 部署名/氏名	ご住所		
電話番号	メールアドレス		
FAX番号	参加人数		名

■若手中堅社員 部下育成 (OJT) 研修プログラム

時間	プログラム	内容	手法
9:30	Z世代の特徴と指導のポイント	Z世代の理解と、年度ごとの特徴や指導方法について学びます。	レクチャー
10:00	On the Job Trainingとは	ご自身の新人若手時代にうけた良い指導と悪い指導から、Z世代のやる気を引き出す育成方法について考え気づきを得ます。そのうえで、OJTとOff-JTの違いやOJTを活用する目的についての理解を深めます。	レクチャー 個人ワーク グループワーク
30			
11:00			
30	OJT担当者の役割	市場環境が急激に変化し競争が激化する中で、企業が目標を達成するには若手や新入社員の早期戦力化が重要です。その中で、OJT担当に求められている具体的な役割と3つの力について学びます。	レクチャー 個人ワーク グループワーク
12:00			
30	昼 食		
13:00			
30	OJT計画を立てる	OJT指導計画を立てる上で必要な目標の設定を行い、習得項目を洗い出します。どのタイミングでだれが教えるのかを考え、計画的に育成する手順について学びます。	レクチャー 個人ワーク グループワーク
14:00			
30	若手新人育成の基本スタンス	人材育成の基本スタンスとして、若手新人の価値観を理解することが重要です。そのうえで、話しやすい環境を整え、相手に伝わる指導方法について学びます。そして、相手の成熟度に合わせ、ティーチングやコーチングなどを使い分ける必要性を理解します。	レクチャー 個人ワーク グループワーク
15:00			
30	ティーチング方法	知識と技術指導時に必要なティーチング方法を習得します。ティーチングの6段階指導法を学び、ロープレを通じて、習得を図ります。またモチベーション向上につながるフィードバック(褒める叱る)の目的や効果的なフィードバックのフレームワークを学び、指導力の強化を図ります。	レクチャー 個人ワーク グループワーク
16:00	OJT行動計画	研修の学びを現場で実践するためのアクションプランを作成し、学んで終わりではなく、実践につなげます。	個人ワーク
30			
16:50	研修終了		

■研修の参加者の声

受講者①

男性 / 製造業 / 技術職

昔ながらの指導をしており、Z世代には全く通用しないことを痛感した



俺の背中を見て学べ！と指導を受けていたので、若手や新人も自分から学んで育つものだと思っていたが、時代が変わり、Z世代の傾向を学ぶことで、それではダメだと気付きました。まずは、一緒に働くメンバーの価値観を理解することから始めます。

受講者②

女性 / 製造業 / 企画職

なんとなく指導をしていたが、頭が整理され計画的に指導するイメージができた



今までは行き当たりばったりの指導でしたが、意図的に計画的に指導することの重要性を理解しました。また、忙しいのに指導するのが大変だと思っていたが、会社からの期待値や非常に重要な役割だと認識することができ、意識を変えて取り組もうと思った。